

地域の中小規模の博物館・美術館、図書館、文書館等(MLA機関)での活用を目標とし、各館担当者を対象として作成

第1章 デジタルアーカイブの構築

- ・デジタルアーカイブの概要及びデジタルアーカイブを構築する意義を解説
- ・デジタルアーカイブによって、自組織の活動成果の普及・公開、資料の継続的保存・管理、資料の検索性の向上等の効果が得られることを説明

第2章 デジタルアーカイブの連携

- ・デジタルアーカイブ連携の意義及び連携の効果について解説
- ・連携による知的資産へのアクセス性向上が、新たなビジネスの創出、日本文化や研究の国際的発信、高等教育や観光産業などの振興等に寄与することを説明

第3章 デジタルアーカイブの実例

市区町村あるいは都道府県レベルでのデジタルアーカイブの実例を取り上げ、構築・運営の工夫などを紹介(練馬区立美術館、萩市立図書館、計6館)

第4章 デジタルアーカイブの構築・連携の課題

デジタルアーカイブの構築・連携・運用にあたって、各館で検討すべき課題を抽出

第5章 デジタルアーカイブの構築・連携の手引き

実際にデジタルアーカイブを構築する流れや必要な知識について様々な事例やガイドラインを引用し、各館の担当者が参考にできる手引きを作成

参考資料 規格一覧, 事例紹介

デジタルアーカイブにおいて使用される各種規格の一覧、及び所蔵品のデジタル化を含めた具体的構築方法の事例紹介

デジタルアーカイブの実例(一部)



デジタルアーカイブ構築・連携の流れ

自館の現状把握と準備

デジタル化

システム構築

デジタルアーカイブの継続運用

- ・デジタルアーカイブ構築事業の入門書として、基礎的理論と多様な事例を併記
- ・現実的に事業に取り組む際の手助けとして、作業手順やコスト目安の実例を紹介